

小学校第6学年 国語科（学校図書館教育） 学習指導案

期 日 平成23年9月22日（木）第5校時
場 所 宇城市立豊福小学校 図書室
指導者 教諭 吉田 俊彦

1 単元名

「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう
「未来に生かす自然のエネルギー」（東京書籍六年下）

2 単元について

(1) 単元観

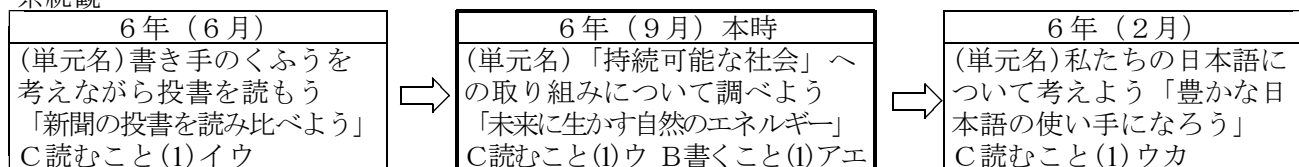
本単元は、小学校学習指導要領国語の目標（2）（3）を受け、内容C読むこと（1）ウに加え、内容B書くこと（1）ア「考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」およびエ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」をねらいとしている。つまり、説明的文章を読む力に加え、情報の収集力と情報の活用力を身に付けることを目標としている。

そこで、本教材文の読解指導の後、これを踏まえて調べ学習を行う。自然エネルギーについての課題を各自設定し、図書や資料、インターネット等から必要な情報を収集してリーフレットにまとめる課題解決学習とする。

その過程で、集めた図書や資料等を「資料リスト」としてパソコンに記録したり、インターネットや電子書籍を使って調べる活動を設定し、図書活用のスキルとともに、文字入力をはじめとするICTの基本的な操作スキルの向上も目指す。

最近、新聞やテレビではエネルギー問題が大きく取り上げられており、児童が目にすることも多いだろう。この時期に、本単元を取り扱うことは、児童に問題意識を持って社会事象を捉えさせたり、思考力を養ったりする上でも有効であると考えられる。また、様々な図書資料の特徴に気付き、課題解決のために図書室の利用が有効であることを体感させたい。

(2) 系統観



(3) 児童観

- 本学級は、男子17人、女子16人、計33人である。内容を読み取り、要旨をまとめたりすることに個人差があり、資料を引用したりグラフを用いたりして自分の考えが伝わるように書ける児童は少ない。
- パソコンでの文字の入力技能については、個人差があり、友だちと協力してできる児童が多く、ローマ字入力で10分間に200字以上入力できる児童は5人である。また、インターネットを活用し、必要な情報を収集することができる児童は11人程度である。
- 図書室の利用については、調べ学習をするのに図書室を利用するのはとても役に立つと感じている児童は11人（32.4%）、必要情報の取り出しがスムーズにできると感じている児童も7人（20.6%）と少ない。
- 熊本県学力調査の結果から、国語科のすべての観点について県平均を下回っており、「書くこと」では、他の領域に比べて得点率が低い。

(4) 指導観

- 教材文の文章構成を参考に、自然エネルギー問題について現状・課題・解決策の観点からリーフレットを書くこととする。また、教材文からグラフや具体例の効果を確認させ、リーフレット作りにも生かすようにさせる。
- 公共の図書館と連携してできるだけ多くの図書資料を準備し、児童が豊富な資料の中から必要な情報を取捨選択できる環境を整える。
- 既習の図書活用スキルやパソコン操作スキルについては、他教科等でも取り扱い、習熟を図るようにする。

Cプロジェクト 情報活用能力の育成の観点から

本単元で高める情報活用能力は、ICTの基本的な操作として「コンピュータでの文字入力ができること」「インターネット検索により情報を収集できること」であり、図書活用として「分類番号、目次、索引等を使って図書資料を効率よく収集しこれらを活用して情報を集め適切に処理・表現すること」である。そのため、複数の本資料リストにしてまとめたり、インターネットを利用して必要な資料やグラフを収集したりして、リーフレット作りに活用させる。資料リスト作りでは、来年の6年生に向けて活用できる資料リスト作りを目指すことを目標に、意欲を持って取り組めるようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	○資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取ることができる。 ○自然エネルギーについて課題を持ち、資料や情報源の特徴を知ったうえで適切に収集・活用し、複数の資料を使って分かったことをまとめることができる。
読むことへの関心・意欲・態度	①自然エネルギーについて課題を持ち、課題解決のために複数の本や資料を比べて読み、情報を多面的に収集している。
読む能力	①資料や具体例の示し方に注意しながら、事実と意見との関係を押さえて読んでいる。 ②図やグラフの効果を理解し、説明の内容を読み取り、筆者の意見をまとめている。 ③自分の課題を解決するために複数の本や資料を読み、必要な情報を集めている。
書く能力	①複数の本や資料を比較したり、自分の意見と比べたりしながら情報を評価し、書く事柄を選び集めている。 ②文章を引用したり、自分の考えの根拠となる事実を表す図表やグラフを用いたりして、自分の意見が説得力を持って伝わるように書いている。
情報活用の実践力	①図書資料を効果的な方法で収集し、必要な情報を探すことができている。 ②収集した図書資料等をパソコンで資料リストに記録できている。 ③インターネット検索等を行い、必要な情報を探すことができている。

4 指導・評価の計画（12 時間取扱い 本時 6 / 12）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※Cプロジェクトの視点から	評価基準（基準B）（方法）
1	1	○前文を通読して、初発の感想を発表する。	・教材全体の学習内容を一覧にまとめて掲示し、毎時間それを見ながら学習状況を確認していくようにする。	関心・意欲・態度①（観察・ノート） エネルギー問題について感心を持ち、学習課題の解決に取り組もうとしている。
2	2 ・ 3 ・ 4	○資料や具体例に注意して筆者の意見を読み取る。 ○大まかな文章構成をつかむ。 ○内容を読み取る。 ○筆者の意見をまとめる。	・文章を4つの構成に分けて、取り上げられている話題をまとめさせる。 ・資料や具体例の効果を考えながら、内容を読み取らせる。 ・結論の部分を読み、筆者の意見をまとめさせる。	読む①（ノート・ワークシート） 資料や具体例の示し方に注意しながら、事実と意見との関係を押さえて読んでいる。 読む②（ノート・ワークシート） 図やグラフの効果を理解し、説明の内容を読み取り、筆者の意見をまとめている。
3	5	○リーフレットの作り方を知り、調べる課題を考え決定する。	・「自然エネルギー」について調べることを具体的に決めさせる。	関心・意欲・態度①（観察） 調べるテーマを決め、見通しを持って、課題の解決に取り組もうとしている。
	6 本 時	○図書室でリーフレット作りに活用できる本や資料を収集し、パソコンで資料リストに記録する。	※本や資料を活用する方法を紹介し、必要な情報を収集させる。 ※資料リスト作りをして文字入力に慣れさせる。	情報活用の実践力①（観察） 情報活用の実践力②（資料リスト）
	7	○収集した複数の本や資料を読み比べ、課題解決に必要な情報か吟味し、選んでいる。	・リーフレット作りに参考になるところを見つけて、読んでいくようにさせる。 ※資料リストに本の有効性を書き込ませる。	読む③（観察・ワークシート） 複数の本や資料の必要性を吟味して読み、それぞれの図書の特徴に気付いている。
	8	○パソコンを使いインターネット検索や電子書籍により必要な情報を収集し、資料リストに記録する。。	・リーフレット作りの参考になるところを見つけて、書かれた内容を読むようにさせる。 ※パソコンを活用し、情報収集をさせるとともに資料リスト作りをして文字入力に慣れさせる。	読む③（ノート・ワークシート） インターネットや電子書籍の情報から必要な箇所を選んでいる。 情報活用の実践力③（資料リスト）
	9	○複数の資料や情報を参照し、資料から分かることを関係付け、考えを書く。	・引用する内容を選んで、自分の考えをノートにまとめさせる。	書く①（ワークシート） 複数の本や資料から書く事柄を選び考えを書いている。 情報活用の実践力④（ワークシート）
4	10 11 12	○成果をリーフレットにまとめ、交流する。	・リーフレットの構成を考え、工夫してまとめさせる。 ・リーフレットを互いに読み、感想を伝え合わせる。	書く②（作品） 文章を引用したり図表やグラフを用いたりして意見が説得力を持って伝わるように書いている。

5 本時の学習

(1) 目標 自分の課題解決に必要な本や資料を収集し、資料リストを作ることができる。

(2) 評価基準

(基準B) 情報活用の実践力①(観察) 図書資料を効果的な方法で収集し、必要な情報を探ることができる。

情報活用の実践力②(資料リスト) 収集した図書資料等をパソコンで資料リストに記録できている。

(基準A) 情報活用の実践力①(観察) 図書資料の特徴に気付き図書資料を効果的な方法で収集し、必要な情報を探ることができる。

情報活用の実践力②(資料リスト) 収集した複数の図書資料等をパソコンで資料リストに記録できている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Cプロジェクトの視点	備考
導入 5分	1 本時のめあてを確認する。	○今日はグループごとに課題別の自然エネルギーコーナーを作ろう。 ○必要な本を探すのに効果的な方法があります。	○前時に持続可能な社会にするための「自然エネルギーの未来」について調べるテーマを決めさせておく。 ○ゲストティーチャーに登場してもらい、図書室にある十進分類法について教えてもらう。	フラッシュカード ゲストティーチャー
学習課題 課題別の自然エネルギーコーナーを作り、資料リストに記録しよう				
展開 35分	2 各自の課題について本や資料を収集し資料リストを作る。 (1) 本や資料を収集しワークシートに記録する。 【グループ】 (2) 収集した本や資料を読んだり、パソコンで資料リストを作ったりする。 【個人・グループ】	○課題別の自然エネルギーに関する本や資料を収集しよう。 ○見つけた本や資料をワークシートに記録しよう。 ○パソコンで資料リストを作ろう。	○収集した本や資料に目を通し、利用できる場所に付箋を付けるようにさせる。 【評価：情報活用の実践力①(観察)】 〈B基準に達しない児童への手だて〉 本を探せない児童は、司書教諭から支援を受ける。 ※ワークシートに記録した児童はパソコンで資料リストを作らせる。 ※資料リスト作りはグループごとに1台のパソコンを使い保存するようにさせる。 【評価：情報活用の実践力②(資料リスト)】	本 資料 新聞 パソコン 本立 付箋 ワークシート(手書きリスト)
整理 5分	3 本時のまとめをする。【一斉】 (1) 本や資料の特徴について気づいたことを出し合う。 (2) 次時の予告をする。	○各グループの本を前に並べましょう。 ○リーフレット作りに使えそうな本を教えてください。 ○本をどのようにして探しましたか。 ○次は、集めた本を読み吟味しましょう。	○収集した本を1か所に集め、どんな種類の本があるかを考えさせる。 ○活用できそうな本や本の見つけ方を発表させることで、「背表紙」「目次」「索引」で調べると便利に気付かせる。 ○次時の見通しを持たせる。	